



# THAILAND ECONOMIC UPDATE

## July 2022

ศูนย์วิจัยกสิกรไทย  
KASIKORN RESEARCH CENTER

### タイ経済は5月もコロナ対策の行動制限緩和で改善傾向

#### ▶ 要点

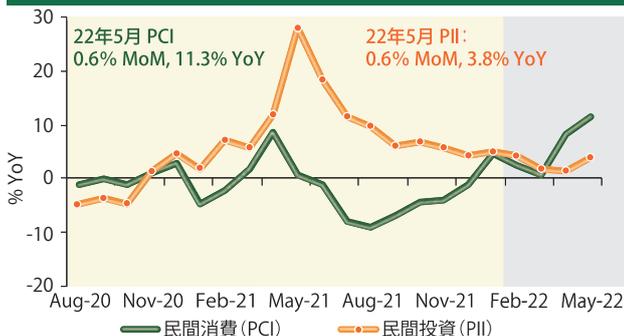
- ▶ 2022年5月のタイ経済は前月に引き続き改善しています。新型コロナウイルス感染症の新規感染者の減少と制限緩和によって、民間消費も設備投資も改善が見られます。また、外国人、国内旅行者のいずれも増加しています。しかし、世界的なサプライチェーンの混乱や半導体などの部品不足問題から工業生産の伸びが減速しました。
- ▶ 2022年6月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比+7.66%と前月に引き続き上昇しています。その主な要因は、ロシアによるウクライナ侵攻とロシアなどに対する経済制裁によって、原材料やエネルギー価格が世界的に上昇し、タイ国内のモノやサービス価格を押し上げていることによります。一方で、振幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比+2.51%となりました。
- ▶ カシコンリサーチセンターは、2022年の外国人旅行者数が、前年比17倍の720万人にのぼると予測しています。その主な要因は、タイ政府が7月1日に入国制限を全面的に緩和したことによります。2022年下半期の外国人旅行者数は、前期比2倍超の500万人となる見通しです。
- ▶ 一方で、外国人旅行者からの観光収入は4050億バーツとなる見込みです。外国人旅行者数の国・地域別1位はインドで、このほか東アジアの旅行者が成長エンジンになるとみえています。

#### ▶ タイ経済の動向

##### 2022年5月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2022年5月の重要な経済指標によると、タイ経済は前月からの回復基調が続いています。コロナの新規感染者の減少によって、タイ政府が行動制限緩和の範囲を拡大し、消費者の心理が改善し、民間消費も設備投資も改善が見られています。また、行動制限の緩和によって、外国人、国内旅行者のいずれも増加しています。

図1：民間消費と民間投資



出所：BoT, Ministry of Industry, Ministry of Tourism and Sports

図2：輸出、工業生産と外国人観光客数



備考：YoY=前年比；MoM=前月比

5月の民間消費は前年同月比11.3%増加しました。旅行者の支出が3.7倍となったほか、サービスが26.4%、耐久消費財が11.6%と2桁の増加となっています。非耐久消費財が3.6%、半耐久消費財も2.6%とすべての項目で増加が見られます。

一方で、民間投資は前年同月比3.8%増加しました。建設認可を受けた土地の面積が13.3%の増加となったほか、商用車の登録が7.4%、機械・設備を中心とした資本財の輸入が5.6%、国内の機械販売が4.4%それぞれ増加しています。建材の販売のみ2.1%の減少となりました。

5月の輸出は前年同月比11.3%増の256億米ドルとなりました。金を除いた輸出額は13.4%増の253億米ドル、金と石油関連製品を除いた場合は8.6%増となっています。

工業生産に関しては前年同月比2.1%の減少となりました。国内の需要は改善しているものの、世界的なサプライチェーンの混乱により下押し圧力が加わったことが要因です。一方で、観光業では行動制限緩和により外国人観光客数の増加が見られています。

図3：インフレ率

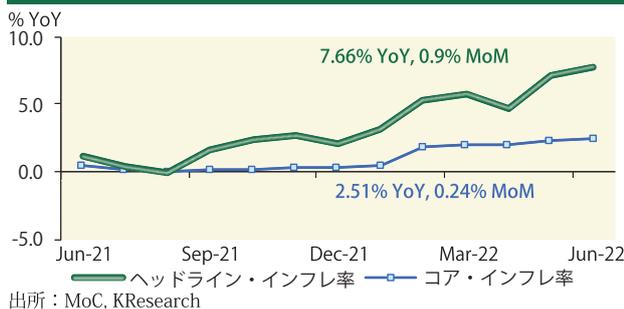
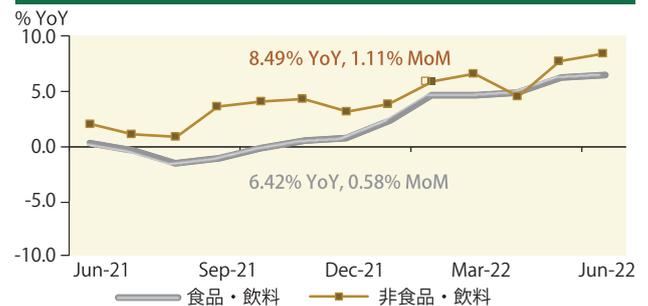


図4：食品・飲料と非食品・飲料の物価



商務省が発表した2022年6月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比+7.66%と前月に引き続き上昇しました。その主な要因は、ロシアによるウクライナ侵攻とロシアなどに対する経済制裁によって、原材料やエネルギー価格が世界的に上昇し、タイ国内のモノやサービス価格を押し上げていることによります。

品目別にみると、食品・飲料部門は6.42%上昇しました。肉・魚が12.98%、調味料が11.48%と2桁の伸びとなったほか、総菜類が7.28%、外食が6.54%、卵・乳製品が5.38%、非アルコールが2.55%、果物・野菜が0.35%それぞれ上昇しています。しかし、米・粉製品は2.73%下落となりました。一方で、非食品部門は8.49%上昇しています。エネルギーが+39.97%と高騰したことを受けて、運輸・通信が14.75%上昇したほか、住宅も6.79%と高い上昇率が続いています。

一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比2.51%増と、前月と比べ加速が見られています。

### 2022年の外国人旅行者数は720万人にのぼる見通し

カシコリサーチセンターは、2022年の外国人旅行者数が、前年比17倍の720万人にのぼると予測しています。その主な要因は、タイ政府が7月1日に入国制限を全面的に緩和したことによります。2022年下半期の外国人旅行者数は、前期比2倍超の500万人となる見通しです。一方で、外国人旅行者からの観光収入は4050億バーツとなる見込みとなっています。外国人旅行者数の国・地域別1位はインドで、このほか東アジアの旅行者が成長エンジンになるとみられています。

一方、ロシアのウクライナ侵攻により欧州やロシアの旅行者数が減少することや、世界的なエネルギー価格や物価の上昇により生活費がかさんで旅行の判断に影響を与えることが懸念材料となります。

タイの外国人旅行者数は、新型コロナウイルス感染症の流行前の2019年は3980万人でしたが、2020年は670万人、2021年は43万人と激減しました。2022年1～5月は131万人となっています。

監修：カシコリサーチセンター

本資料は情報提供を唯一の目的としており、ビジネスの判断材料とするものではありません。掲載されている分析・予測等は、資料制作時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、予測の妥当性や正確性が保証されるものでもありませんし、商業ないし何らかの行動の為に採用することから発生した損害の責任を取れるものでもありません。本資料の予測・分析の妥当性等は、独自でご判断ください。

www.kasikornbank.com  
K-Contact Center 02-8888888



KBank Live



KBank Live



KBank Live



KBank Live

บริการทุกระดับประทับใจ